

## 令和２年度（相模原養護学校）不祥事ゼロプログラムの検証

### ○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知徹底）	・公務員倫理意識の徹底を図る	・職員の行動指針について、年度当初から、管理職・総括教諭が中心となって周知徹底に努めた。 ・通知文書等について、管理職による迅速な周知を行った。 ・事故防止会議や朝の打合せの中で、時期を捉えて情報共有を行い、意識啓発を図った。
わいせつ・セクハラ行為の防止	・ハラスメントは著しい人権侵害であることを理解し、人権感覚を磨く	・ハラスメント研修会を通して、児童生徒への適切な指導について考え、防止への意識を高めた。 ・職員間の情報共有を適宜行い、指導における適切な対応方法を確認し、人権感覚を常に磨いた。
体罰、不適切な指導の防止	・体罰・不適切な指導の根絶を目指す	・事故防止会議を通して、職員の意識啓発を図った。 ・職員間の情報共有をこまめに行い、互いの指導に関して体罰や不適切な指導にあたるかの確認を徹底した。 ・児童生徒への関わりについて同僚性を通して、人権を意識した指導をさらに向上させることを目指したい。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	・マニュアルに基づく確実な業務の実施と点検体制の確立を図る	・管理職・総括教諭が中心となって、複数職員によるチェックや意識の啓発を行った。 ・入学者選抜等に関する業務に集中できるように時間の確保が引き続き課題となる。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	・個人情報の流出防止と情報管理の徹底を図る	・個人情報に係る事故を防止するため、年度当初から事故防止会議や朝の打合せの中で呼びかけ、意識啓発に力を注いだ。 ・個人情報の管理について、文書及び電子データそれぞれの取扱いに関する整備を進めた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の順守	・交通事故防止・飲酒・酒気帯び運転防止のための啓発を行う	・事故防止会議や朝の打合せで情報提供を行い、意識啓発を図った。 ・互いの言葉掛けや注意喚起ができるように同僚性を大切にしていくなかで働きかけを行った。
業務執行体制の確保等	・情報を共有するための具体的な方法とチェック体制の在り方を構築する	・事故・不祥事防止を一人ひとりが高い意識を持つための工夫として、各学部が順番に事故防止に係るプレゼンテーションを行い、主体的に取り組むことでより意識が高まった。 ・順番にプレゼンターを決めて会議で提案をすることは、自らの問題として意識することに成果があることから、今後も継続していく。
会計事務等の適正執行	・適正な会計事務の実践に努め、事故を防止する	・運営管理グループを中心に、適切な私費会計に係る研修会を実施した。 ・各学部、学年において私費会計担当者が中心となり、複数職員による確認を必ず行うよう努めた。 ・事故防止会議や朝の打合せ等の中で毎回確認し、意識啓発を図った。 ・私費会計の課題があればすぐに改善を図る等、事故防止に向けたスピード感のある対応を行った。

### ○ 令和２年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和３年度に取り組むべき課題

・令和２年度においては、教職員一人ひとりが事故・不祥事防止への意識を常に持てるよう、グループ、学部ごとにテーマに沿ってプレゼンテーションを行う取り組みに加え、課題について教職員全員で協議をする場面を設定することで、一人ひとりの問題意識をより高めることができ、大きな成果となった。

・令和３年度は、令和２年度に引き続きプレゼンテーションや全員での協議を行い、防止への意識をさらに高めるとともに、人権を尊重した指導について、一人ひとりがしっかりと意識できるような手立てを考え、重点的に取り組んでいきたい。